

SARSの基礎知識

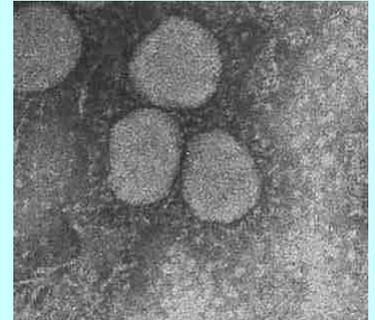
厚生労働省

1. SARSってどんな病気なんですか？

SARS(重症急性呼吸器症候群)は、平成14年11月から15年7月までに世界中で8,098人の可能性例と774人の死亡者が確認された、SARSコロナウイルスによる感染症です。(平成15年9月26日WHO発表による)

SARS患者と接した医療関係者や同居の家族など、**患者の咳を浴びたり、痰や体液に直接接触する等の濃厚な接触をした場合に感染し、2日～7日、最大10日間の潜伏期間を経て、発病します。**

SARSコロナウイルスの消毒には、エタノール(アルコール)や漂白剤等が効果的です。また、SARSコロナウイルスに感染したとしても、**発熱や咳などの症状がない時点では他人へ感染させることはなく、**また患者が触れた物品を通じてSARSが人へ感染する危険は小さいと考えられています。



SARSコロナウイルス

2. SARSが疑われるのはどんなときですか？

SARSが疑われるのは、

10日以内にSARSの流行地域から帰国、又は10日以内にSARS患者の体液に触れる等の濃厚な接触があった方で、

38 以上の発熱、

せきまたは息切れ等の呼吸器症状がある方です。

平成15年7月5日にWHOにおいて、SARS流行の終息宣言が行われた後は、現在、流行地域はありません。(ただし、その後、単発例の患者発生は認められています。)

38 以上の発熱又はせき等の症状があり、上の要件をみたす方は、必ず事前に最寄りの保健所又は医療機関に電話で相談の上、指示に従ってください。

(院内感染及び周りの人への感染を防ぐために必要なことです。ご協力をお願いします。)

(なお、流行地域がない状況においても、一定の要件を満たす原因不明の肺炎については医療機関からの報告を求める監視体制を取っています。)

3. SARSの予防法は？治療法は？

(予防法)

外出先から戻った時に手洗い、うがいを行うことはSARSだけではなく、多くの感染症に共通する予防法です。また、SARS予防のためのワクチンについては、世界各国で研究中です。(マスクは、感染の原因となる飛沫(しぶき)が直接口に入ることや、しぶきがついた手で口を触ることを防ぐ等の効果があります。)

(検査法)

SARSコロナウイルスの迅速な診断方法として、ウイルス遺伝子を検出するLAMP法やPCR法(いずれも確認検査が必要)、確定診断の方法としてのウイルス分離や抗体検査(ただし、確定まで日数を要する)があります。

(治療法)

治療は、全身状態の管理や呼吸管理などの症状を和らげる治療を行います。また、根本的な治療法についての研究も行われています。